



2017年10月24日  
みその都市デザイン協議会

さいたま市美園地区における まちのウォーカビリティ向上を目指して  
**滞留空間創出社会実験「美園マチなかロビー」を実施**  
浦和美園駅東口駅前にて10月29日(日)から11月3日(金・祝)まで

みその都市デザイン協議会(埼玉県さいたま市、会長:久保田尚埼玉大学大学院教授)では、さいたま市美園地区におけるウォーカビリティ向上のための調査・研究の一環として、10月29日(日)から11月3日(金・祝)まで、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」東口駅前にテーブル・椅子等を並べ、オープンスペースの活用可能性を探る滞留空間創出社会実験「美園マチなかロビー」を実施いたします。

さいたま市の“副都心”の一つに位置づけられている「美園地区」では、土地区画整理事業を核とした新市街地形成が進行中です。道路等のインフラ整備や宅地造成も徐々に概成しつつある今、地区内の夜間人口・昼間人口・交流人口のさらなる増加に向けて、基盤整備後の土地利用の促進と合わせて、個性と魅力が感じられる都市空間・環境の形成・誘導や、その使いこなし(管理・運用)が課題となってきています。

そこで、「みその都市デザイン協議会」<sup>※1</sup>では、2017年4月公表の『美園スタジアムタウン憲章』および『みその都市デザイン方針』を基に具体施策検討を進める中で、まちの“ウォーカビリティ”<sup>※2</sup>に着目し、人の会話や飲食等のアクティビティを日常的に生み出し、歩いて楽しく心地よい都市空間・環境の実現に向けた調査・研究の一環として、まちなかのオープンスペースの活用可能性を探る社会実験「美園マチなかロビー」を企画いたしました。

10月29日(日)から11月3日(金・祝)まで、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」東口駅前のオープンスペースにテーブル・椅子等の空間装置を配置、創出した仮設の滞留空間を地域住民や来街者等に“体感”してもらいます。また、そこで行われるアクティビティ(行動)や滞留時間等を分析・検証し、オープンスペース形成・利活用方策検討やそのマネジメント体制構築など、今後の本地区のまちづくりに活用していきます。

**滞留空間創出社会実験「美園マチなかロビー」実施概要**

浦和美園駅東口駅前広場に面したオープンスペース(駅舎の壁面後退部分)にテーブル・椅子等を置き、仮設の滞留空間を期間限定で設置・開放します。そこでの地域住民・来街者等の滞留行動を定量的・定性的に分析・検証し、本地区のオープンスペース形成・利活用方策検討等に向けた基礎データとして活用していきます。

■日時 2017年10月29日(日)～11月3日(金・祝)  
10:00～16:00 ※雨天中止

■場所 埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」東口 出入口2付近  
(さいたま市緑区美園四丁目12番地)

■設置物 テーブル・椅子セット  
アーバンファニチャ(竹オブジェ試作品) ※後述関連事業参照  
キッチンカー ※10月31日(火)、11月3日(金・祝)のみ

■その他 安全対策等の理由により、予告なく社会実験を中断または中止する場合がございます。

主催:みその都市デザイン協議会

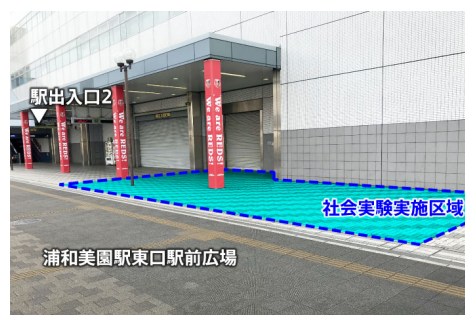
運営:一般社団法人美園タウンマネジメント

協力:埼玉高速鉄道株式会社

調査監修:ソトノバ



▲社会実験実施場所



▲社会実験実施区域(予定)

## 関連事業 アーバンファニチャ（竹オブジェ試作品）制作 概要

アーバンデザインセンターみその (UDCMi) ※3にて定期開催している、美園地区を研究対象とした学生まちづくり演習「みその都市デザインスタジオ」の 2017[春]期における学生提案アイデアを基に、行政・大学・地元工務店・まちづくり専門家等の協働により、地場産竹材を活用した仮設アーバンファニチャを試作いたしました。

根を張ることの難しい、あるいは基礎を埋め込むことができない場所でも、仮設的に緑空間・溜まり空間を演出できる都市空間装置として開発した本試作品を「美園マチなかロビー」でも活用いたします。

### ■スケジュール

2017年10月28日(土) 浦和美園まつり&花火大会にてお披露目  
10月29日(日)～11月3日(金)「美園マチなかロビー」にて活用  
11月4日(土)～ 浦和美園イベントプロムナード(歩行者専用通路)にて長期運用検証

**企画：**みその都市デザイン協議会

**設置：**さいたま市浦和東部まちづくり事務所

**運用管理：**一般社団法人美園タウンマネジメント

**施工：**さいたま県産木材住宅促進センター（株式会社榊住建）

**協力：**埼玉高速鉄道株式会社、埼玉スタジアム2002公園管理事務所

**原案監修：**芝浦工業大学（都市デザイン研究室・構造デザイン研究室）



▲スタジオ 2017[春]での提案イメージ図



▲試作風景

**※1 みその都市デザイン協議会について：** さいたま市美園地区の個性と魅力ある都市空間・都市環境の実現に向けて、2016年3月に設立（事務局：さいたま市浦和東部まちづくり事務所・一般社団法人美園タウンマネジメント）。地元組織・行政・立地企業・大学など「公民+学」の各主体が参画し（18団体：2017年10月時点）、アーバンデザインセンターみその (UDCMi) を協働・情報発信の場として、主にまちづくりのハード面の検討・協議・調整に取り組む。地域の空間資源を活かしながら、街並み景観・公共空間・交通環境など、新たな都市基盤上に形成する空間・環境の質の向上を目指す。

**※2 ウォークアビリティ (walkability) について：** 英語の「歩きやすい/歩行に適した」という形容詞「walkable」の名詞形。歩きやすい良好な歩行空間を有する事のみならず、自家用車に過度に依存しない環境にやさしい生活や、心身共に健康なライフスタイル等を可能とするなど、歩く行為を促進する地域環境全般を含む概念として着目されている。

**※3 アーバンデザインセンターみその [UDCMi] について：** さいたま市美園地区における市民・行政・民間企業・大学等専門機関など多様な主体の連携を促進させ、新たなまちづくりプロジェクトを企画・事業化・発信していくためのまちづくり拠点施設として、2015年10月に埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」西口に開設。

【公式 Web サイト】 <http://www.misono-tm.org/udcmi/>

### 《この件についてのお問い合わせ先》

一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：岡本）

Tel. 048-812-0301

E-mail. [info@misono-tm.org](mailto:info@misono-tm.org)